

# 水通信



2024.4.25 第197号

「水通信」は、水資源機構（主に中部管内）における取組に関する情報を、中部管内の関係者（県、市町村、土地改良区その他関係機関）の皆様方に、直接配信させていただいております。

## 目次

※目次の事業所名等をクリックすると、その事業所等の記事に移動します。各記事の事業所名をクリックすると目次ページに戻ります。

☆ [【巻頭言】](#) 1頁

○ 支社長就任あいさつ

中部支社 支社長 笠井 泰孝

☆ [【中部管内水源情報】](#) 2頁

☆ [インタビュー『水を支えるスペシャリストに聞いてみた』](#) 3頁

☆ 《新着情報》

[中部支社](#) 6頁

○ 中部支社の組織が変わりました

[豊川用水](#) 7頁

○ 部長就任あいさつ

[木曾川水系連絡導水路](#) 7頁

○ 副所長就任あいさつ

愛知用水 8頁

- 所長就任あいさつ

木曾川用水 8頁

- 重宝排水機場機側及び船舶・中型車両等の操作訓練を実施しました
- 関係利水者の方々に木曾川用水施設を現場視察して頂きました

岩屋ダム 10頁

- 「アユ迷入防止対策」を行いました

阿木川ダム 11頁

- 空心菜栽培に用いたコンテナ撤去作業を実施しました

徳山ダム 11頁

- 所長就任あいさつ
- 横山ダム受託事業開始しました
- 「ダム印」を始めました

長良川河口堰 13頁

- 長良川河口堰見学会を開催します！

味噌川ダム 14頁

- 味噌川ダム防災資料館（ふれあい館）開館のお知らせ
- 常用洪水吐ゲートの点検を行いました

三重用水 15頁

- 所長就任あいさつ
- 第48回菰野町駅伝大会に参加しました

☆ 【編集後記】 16頁

- 担当課 中部支社 総務課

## 巻頭言

### ○ 支社長就任あいさつ

中部支社 支社長 笠井 泰孝

このたび、3月31日付けで水資源機構中部支社長に着任しました笠井と申します。

能登半島沖地震で亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された皆様が一日も早く通常の生活に戻られることをお祈り申し上げます。

前任地は水機構本社の技術管理室に在籍しておりました。中部支社管内でのご縁が深く、学生時代に愛知用水での夏期実習にお世話になったことがきっかけで水資源開発公団（水資源機構）に入社致しました。入社後は豊川用水で5年、愛知用水（牧尾ダム含む）で5年、中部支社で2年、東海農政局様への出向が2年と中部支社管内での勤務があり、これまで関係機関の皆様が大変お世話になって参りました。引き続きご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



本年元日に能登半島沖地震が発生し、水資源機構も直ちに愛知用水・利根導水に配備している「可搬式淡水化装置」を被災地に向けて出発させ、給水活動を終了した4月19日まで休まず稼働を続けて来ました。現地から入る報告や日々の報道を聞かたび、あらためて安定通水の重要性を強く認識してきた次第です。

水資源機構は、「安全で良質な水を安定して安くお届けする」を経営理念としております。中部支社管内の施設は、東海地域に農・上・工水を安定的に供給するとともに、木曾三川の洪水を防止し、地域の皆様の生活や産業活動を支える重要な役目を担っていますが、施設の機能を十全に発揮させるため、施設の維持管理、老朽化への対応、気候変動に伴う洪水や濁水への対応、そして今後発生が危惧されている大規模地震への備えも大切となります。近年はカーボンニュートラルへの取組も社会から求められています。

また、最近では、人材の不足や働き方改革の報道を目にする機会が増えていると感じます。水資源機構も例外ではなく、職員の確保、業務の効率化や施設管理の高度化に全社的に真剣に取り組んでいるところです。

これらへの対応について、施設管理者として関係機関や利水者の皆様へ、引き続き丁寧に説明させていただきたいと考えております。

本地域の発展に向けて、微力ながらも努力して参りますので、ご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

## 中部管内水源情報

### 【中部管内水源情報】

中部管内の各ダムにおける4月25日現在の降雨及び利水貯水率については、下表のとおりとなっています。

木曾川水系の4ダム（牧尾・岩屋・阿木川・味噌川ダム）の4月降雨量は平年を上回る状況（平年比105%～137%）となっており、4ダム合計の貯水率は96%（平年比120%）と、平年を上回る貯水状況となっています。

豊川水系の宇連ダム及び大島ダムの4月降雨量は、宇連ダムは平年を下回る（平年比84%）、大島ダムは平年並みの状況（平年比101%）となっており、豊川用水全体（宇連・大島ダム、各調整池）の貯水率は97%（平年比112%）と平年を上回る貯水状況となっています。

中部管内各ダムにおける4月の降雨及び利水貯水率（4月25日現在） 単位：（%）

	牧尾ダム	阿木川ダム	味噌川ダム	岩屋ダム	宇連ダム	大島ダム	中里ダム	徳山ダム
降雨の平年比	137	105	114	117	84	101	114	98
利水貯水率 （平年比）	91.7 (139.9)	100 (115.0)	100 (101.3)	100 (112.7)	96.6 (114.2)	100 (110.5)	97.9 (109.5)	100 (100)

・中部支社管内の各ダム貯水状況等は中部支社HP内の「水源情報」でご覧いただけます。

中部支社HP <https://www.water.go.jp/chubu/chubu/index.html>

「水源情報コーナー」

- ◆リアルタイム情報 <https://www.water.go.jp/mizu/chubu/realtime/index.html>
- ◆中部管内の水源状況（平日更新） <https://www.water.go.jp/mizu/chubu/report/>
- ◆ダム貯水状況グラフ、節水情報など  
[https://www.water.go.jp/chubu/chubu/sessuijyouhou06\\_1.html](https://www.water.go.jp/chubu/chubu/sessuijyouhou06_1.html)



ブレイクタイム ことわざ

【 気が利きすぎて間が抜ける 】

・機転をきかせすぎた結果、肝心なところでかえって手落ちが生じてしまうこと。気が利くのに、どこか不注意なところがあること。

## インタビュー『水を支えるスペシャリストに聞いてみた』

中部支社メールマガジン水通信では、令和3年より新たなコミュニケーションツールとして、水資源開発施設等の建設・管理に携わる「人」に焦点を当て、それぞれのスペシャリストにインタビューを行うコーナー『水を支えるスペシャリストに聞いてみた』を掲載しています。

今回は、令和6年1月1日に発生した能登半島地震の災害支援について、岩屋ダム管理所から派遣された職員3名に、当時の状況について話を聞きました。

### 【Profile】

小山 和也  
<kazuya\_koyama>  
平成31年度採用  
担当 土木職



■インタビューの様子

河津 謙太郎  
<kentarou\_kawazu>  
平成8年度採用  
担当 電気職

安部 樹  
<tatsuki\_abe>  
令和2年度採用  
担当 事務職

### 今回の災害支援では、どのような活動をしたのですか。

(河津)

—1月22日から28日の間で給水支援班に加わり、珠洲市の亀ヶ谷池（かめんたいけ）に水資源機構が設置した浄水装置の維持管理を行いました。浄水装置は池の水を飲み水に変えることができる装置であり、安全な水を作り珠洲市の避難所や病院、自衛隊の方々に提供しました。

(小山)

—私はため池調査支援班の一員として、2月15日から22日にかけて支援にあたりました。地震の影響でため池の堤体に亀裂等の損傷が生じていないか確認を行い、貯まった水を抜くことで圧力を下げ、堤体を保つための作業を行いました。

(安部)

—私も小山さんと同じく、ため池調査支援班として3月17日から1週間参加しました。

### 支援活動に参加した際、みなさんはどのような思いを持って臨まれましたか。

(河津)

—私が支援に向かったときはまだ余震が続いていたので、正直なところ怖いなという思いもありました。しかし、それ以上に水道が断絶し安全な水を確保することが困難な方が多くいると聞いていたので、少しでも被災された方の力になればという思いで臨みました。

(小山)

—ため池調査支援班に抜擢されたときは大変重要な仕事を任せていただいたというプレッシャーを感じました。ため池は、その地域の農業用水を支える大切なインフラです。自分の行った点検が、今後も使用できるかに関わってくるため、強い緊張感をもって職務に臨みました。

(安部)

—私も河津さんや小山さんと同じような思いを持って現地入りしました。幼少期に住んでいた地域で断水が起こり、水が使用できない苦しさを経験したことがあるので、少しでも早く、多くの支援ができればという焦りのような感情もありました。



■ 浄水装置点検の様子



■ 給水作業の様子

### 支援活動を行う中で気をつけたことはありますか。

(河津)

—ひとつ目は安全に目的地に向かうことです。道路には亀裂や段差が生じていたので、車で支援に向かう際は事故の無いよう運転に気をつける必要がありました。

ふたつ目は浄水装置を確実に稼働できるよう維持管理することです。水道の代わりとなる重要なインフラ設備であるため、装置の稼働状況を常に気にかけていました。

(小山)

—ため池点検班でも安全確保が課題の一つでした。ため池の多くが山林にあるため、崩落した斜面の真横を進まなければならない場面もあり、常に周囲に気を配り続けていました。

ため池点検では水を抜く際に吸水口を開けすぎると、勢いよく水が流れ下流に被害を及ぼす可能性があるため、流れる水の状態を確認しながら慎重に水抜きを行いました。

(安部)

—私が支援に向かったときも同様に安全確保に苦労しました。大雪に見舞われた時は道路の危険箇所が覆い隠されてしまったので、道路状況を確認するためシャベルで除雪しながら進むこともありました。

ため池では、水抜きを行った後、水位が正常に下がっているか後日確認するのですが、今まで水中に隠れていた堤体のクラックが新たに見つかることもあったので、どんな些細なことでも見逃さないよう点検には細心の注意を払いました。



■ため池点検の様子

**支援活動おつかれさまでした。**

**最後になりますが、今回の災害支援を通じて何か感じたことなどありますか。**

(河津)

—今回初めて災害支援に派遣されましたが、水を当たり前で使用できない状況に直面し、普通に水を使えることのありがたさをあらためて実感しました。また、水を使用することのできない過酷さも痛感しました。独立行政法人水資源機構の理念である「安全で良質な水を安定して安くお届けする」が今後も守られるよう、これからも日々の管理業務に励みます。

(小山)

—ため池の点検を実施する中で、地震の被害を受けた施設にどのような症状が発生するかを直接確認することができました。今後のダムの堤体や設備点検でもそういった被害の出るところに着眼点を置きながら点検を行い、水の安定供給に尽力していきます。

(安部)

—今回の能登半島地震で改めて水のインフラの重要性を感じました。水資源機構の職員として今後も重要なインフラを維持できるよう、より一層施設、設備の状態に気をつけて、維持管理等に努めたいと思います。

**今回の体験を、今後の緊急対応等のときに活かしてください。**

(あとかき)

水資源機構中部支社では、水の安定供給を支える「人」に焦点を当てたインタビューコーナーを今後も特集として掲載していきます。インタビューに応えていただける方を募集しておりますので、ご協力の程よろしく願いいたします。

## 《新着情報》

### 中部支社

#### ○ 中部支社の組織が変わりました

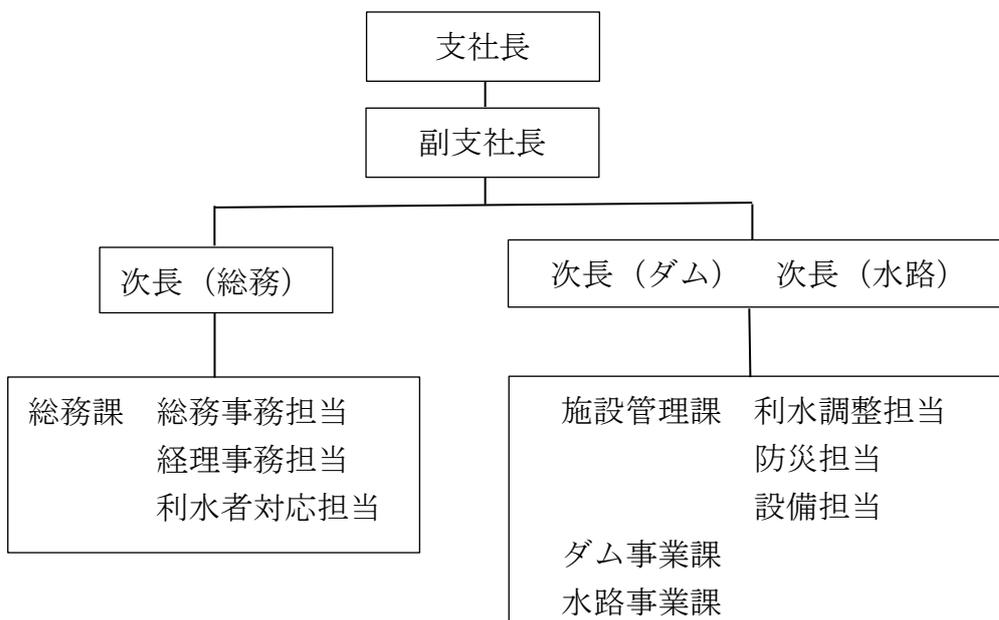
今年度の4月1日から中部支社は、これまでの部制から一つの組織として新たにスタートしました。

昨年度までは、総務部の総務課、経理管財課、利水者サービス課、事業部の水管理・防災課、ダム事業課、水路事業課、設備課で業務を行っていましたが、今年度から部を廃止し、総務担当の次長の下に総務課、ダム担当の次長と水路担当の次長の下に、施設管理課、ダム事業課、水路事業課を配置し、よりスピーディーな対応を目指していきます。

また、管内事業所においても、徳山ダムの下流にある横山ダムの管理を国土交通省から受託し、徳山ダムと横山ダムを一括管理することになりました。

今後とも中部管内の事業について中部支社が中心となり取り組んでいきますので、よろしくお願いいたします。

参考 新しい中部支社の組織



## 豊川用水総合事業部

### ○ 部長就任あいさつ

4月1日付けで豊川用水総合事業部長として着任しました山本政彦と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

昨年度は中部支社に勤務（1年間だけでしたが）しており、支社の立場から豊川用水の管理業務や二期事業に携わってきましたが、今回は現場に入り最前線で現場の指揮を執ることとなりました。

今年は春先の降雨に恵まれ、現時点では水源状況も安定していますが、昨今の気象は極端に偏った傾向にあり、降るときは大雨、降らなくなると無降雨が続くなどまさに異常気象です。水源状況には常に注視し、湖西地域や東三河地域への安定供給に努めていくとともに、河川の出水に対しては宇連ダム等の事前放流操作を的確に取り組んでいく所存であります。

一方、実施中の豊川用水二期事業は、事業費及び事業工期の見直しが必要となってきたことから、事業計画の変更について関係者のご理解を得て進めているところです。引き続き関係者の皆様には情報発信を行いながら必要な手続きを進めていきたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。また、現場では併設水路工事（主にトンネル工事）を実施中ですので、工事現場の見学等を希望される方は当事業部までご連絡頂ければ対応しますのでよろしくお願いいたします。

最後になりますが、水資源機構の経営理念である「安全で良質な水を安定して安くお届けする」を実現するため、職員一丸となって管理業務及び二期事業を実施して参りますので、引き続き皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



## 木曾川水系連絡導水路建設所

### ○ 副所長就任あいさつ

本年4月に木曾川水系連絡導水路建設所副所長を拝命しました梶谷隆志です。

私はこの岐阜県、特に揖斐川町にはなじみが深く、徳山ダム建設所及び管理所に3回、延べ14年間勤務していました。仮排水トンネルなどの監督や環境保全対策、環境レポートなどの作成、管理所では高水管理などを担当しました。その間に揖斐川町内にも自宅を構えたところです。

この木曾川水系連絡導水路事業は、徳山ダムで確保された都市用水などを目的どおり供給するための事業で、徳山ダム事業とは一体不可分の事業だと認識しています。私の機構でのこれまでの経験が少しでも生かせればと考えているところです。



現場第一主義で関係者の方々と良好な関係を構築していきたいと考えています。関係者の皆様、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

## 愛知用水総合管理所

### ○ 所長就任あいさつ

4月に愛知用水総合管理所長として着任しました小栗幸樹と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

前任地は千葉用水総合管理所であり、印旛沼開発施設を含む千葉県内の5つの機構施設の総括管理・運営に携わっていました。

中部管内での勤務は実に25年ぶりとなりますが、当時は愛知用水二期事業の最盛期で、かつ牧尾ダム堆砂対策が現場で動き始めた時であり、私は牧尾支所（当時）に配属され、堆砂土運搬に必要なとなる道路の新設・改良工事の設計、積算、発注を主に担当していました。



現在、通水から60年を越えた愛知用水施設は、牧尾ダムでの堆砂や幹線水路及び支線水路の老朽化の進行、耐震性能（南海トラフ対応）の確保など、様々な課題を抱えていることから、農水国費による事業計画検討調査制度も活用しながら、次期事業に向けた検討を進めているところです。また、近年の気候変動等の影響から、牧尾ダムでは「事前放流」の取り組みも行うなど、あらためて大きな時代の変化を感じているところです。関係機関の皆様としっかり連携を図りつつ必要な調整をすすめて参る所存ですので、ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

## 木曾川用水総合管理所

### ○ 重宝排水機場機側及び船舶・中型車両等の操作訓練を実施しました

木曾川用水では職員が防災対応を確実に実施するため、必要な車両や設備を整えており、これらを用いて何時でも有事に対応できるよう職員の技術力の維持向上を目的に操作等訓練を実施しています。



2月9日（金）、弥富管理所操作室から遠方操作を行っている重宝排水機場が何らかの原因によって遠方操作が不能となった場合を想定し直接操作する訓練を行いました。

2月13日（火）、職員17名が参加し、木曾川大堰及び濃尾第二取水口付近では水質事故等の有事の際に速やかな対応が必要となるため、有事を想定した関連機器の操作を重点的に、また、木曾川大堰取水口付近で小型移動式クレーン、船舶及び中型車両の操縦訓練を実施しました。

今後も職員の技術力維持向上を図ってまいります。



■機側操作訓練の様子



■船舶操縦訓練の様子

○ 関係利水者の方々に木曾川用水施設を現場視察して頂きました

3月6日（水）、愛知県企業庁水道部水道計画課、三重県企業庁水道事業課の方々が長良導水施設の取水口前土砂撤去工事の視察をして頂きました。

近年、長良導水取水口前面部に堆積土砂があることが確認され、安定取水の観点から令和2年度より土砂撤去を行っています。

また、千倉排水機場に係る長島地区内の水質調査及び調査箇所の確認をしました。



■管理概要説明の様子



■取水口前の堆積土砂撤去工事の説明の様子

3月7日（木）、関係県及び関係土地改良区の皆様にご参加いただき、濃尾第二施設現場を視察して頂きました。当日は、午前中は木曾川大堰のゲート整備等工事、午後は弥富揚水機場のポンプ制御設備の整備工事及び耐震対策について視察して頂きました。

木曾川大堰では、普段見ることのないゲートや巻き上げ機室などを視察し、設備の整備の重要性について、また、弥富揚水機場では、三重県に送水するポンプ制御設備を視察し、整

備状況と関連する耐震対策の進捗や今後の方針等について説明しご理解いただきました。

視察して頂いた方々には長良導水の土砂撤去工事や東海・東南海地震等に備えた対策の必要性について理解をより深めて頂きました。



■大堰ゲート巻き上げ室の視察の様子



■弥富揚水機場ポンプ設備の視察の様子

## 岩屋ダム管理所

○ 「アユ迷入防止対策」を行いました

4月2日（火）、今年も馬瀬川下流漁業協同組合の方々と協力し、馬瀬川のアユが活動範囲を広げのびのびと成長してもらうことを目的とした「アユ迷入防止対策」を実施しました。

馬瀬川第二ダム直下の入り口となる馬瀬川と和良川の合流地点にリボンの付いた約30メートルのロープを渡すことで、アユがダム直下の袋小路に迷い込み活動範囲を狭めてしまうことを防ぎます。



■迷入防止ロープを設置する様子



■設置後のロープ

## 阿木川ダム管理所

### ○ 空心菜栽培に用いたコンテナ撤去作業を実施しました

阿木川ダム管理所では、恵那農業高校が毎年度ダム湖にて実施している空心菜研究の植付作業、夏から秋にかけて数回行われる収穫刈取作業等について、作業協力を行ってきました。

この空心菜研究の一連の作業は、同校の3年生が実施してきており、例年冬ごろに、最後の作業として、ダム湖面に設置していた空心菜栽培用コンテナを回収し、コンテナ内の枯れ株や土とメッシュネットの分離作業を行って翌年に備えてきています。

今年度のコンテナ撤去作業については、3月7日（木）の実施となったため、本年度に携わってきた3年生は卒業時期となり、来年度から空心菜研究に携わる5名の2年生が参加することとなりました。

2年生の生徒達は、空心菜研究に携わる前の段階にも関わらず、元気に手際よく作業を進め、チームワークの良さには驚かされました。

阿木川ダム管理所では、引き続き恵那農業高校の空心菜研究への協力を行っていきます。



■作業の説明



■コンテナ撤去作業の様子

## 徳山ダム管理所

### ○ 所長就任あいさつ

4月から徳山ダム管理所長を拝命いたしました國枝です。中部支社から異動して参りました。徳山ダムは、建設時代の平成14年から平成18年まで4年間、調査設計課に勤務した経験があります。約20年の間に変わったこと、変わらないこといろいろありますが、記憶をたどりながら勤務に励みたいと思います。

昨年11月には、冠山峠のトンネルが開通し、西濃地域と福井県との往来が大幅に時間短縮されました。新型コロナもようやく落ち着き、既に多くの方がトンネルを通過して、徳山ダムにもお越しいただいているようで、我々も引き続き地域の発展に貢献したいと考えています。



また、本年4月からは、横山ダムの管理運営も国交省から機構に委託されることとなり、既に新体制のもとで、来る洪水期に備え準備を整えるとともに訓練を重ねているところです。徳山ダムと横山ダムがこれまで以上に緊密に連携することで、洪水から下流沿川の住民をしっかりお守りするとともに、水資源管理や水力発電の効率化による渇水被害軽減やCO<sub>2</sub>削減にも貢献できればと考えております。

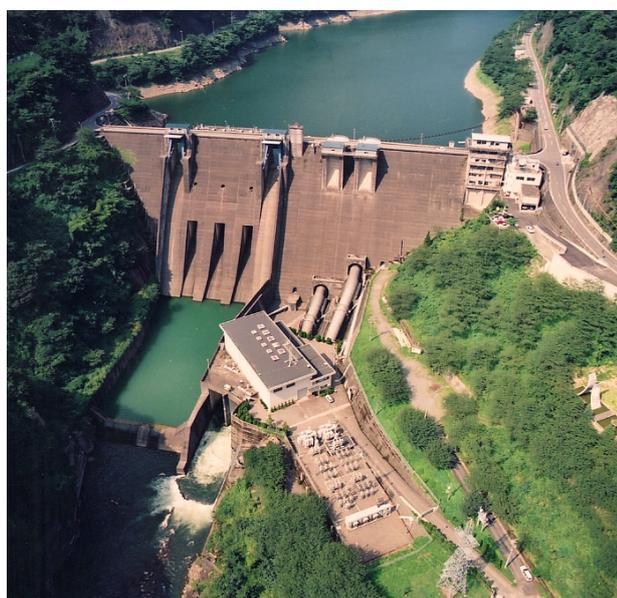
徳山ダム管理所職員一同、頑張ってまいりますので、関係の皆様のご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

### ○ 横山ダム受託事業開始しました

今年度から徳山ダムの下流にある横山ダムの管理を国土交通省から受託して、業務を開始しました。

横山ダムは国が建設し昭和39年からこれまで国土交通省が管理していましたが、4月1日から水資源機構がダムの管理を受託しました。

徳山ダムと横山ダムはこれまでも防災時操作などで連携操作を行い、揖斐川流域の人や財産を守ってきましたが、さらに連携を強化して合理的な管理運営を行ってまいります。



■横山ダム堤体

## 横山ダムと徳山ダムの連携操作

■横山ダムと徳山ダムの連携操作による洪水調節機能の仕組み

**1 洪水前** 洪水に備えて水位を上げておきます

徳山ダム  
ダムに入ってくる水の量が200m³/sまではそのまま放流します。

横山ダム  
ダムに入ってくる水の量が290m³/sまではそのまま放流します。

**3 洪水ピーク付近** 洪水時は高水位で上流に洪水を貯めます

徳山ダム  
ダムに入ってくる水を貯めて行きます。

横山ダム  
ダムに入ってくる水の一部分を貯めて下流に流れる量を減らします。

**2 洪水発生** 洪水を貯めながら下流に流れる量を低減させます

徳山ダム  
ダムに入ってくる水の量が200m³/sを超えたらダムに入ってくる水を貯めておきます。

横山ダム  
ダムからは290m³/sだけを放流し、残りは貯めます。

**4 洪水後** 次の洪水に備え容量を受け付けます

徳山ダム  
下流の安全を確保し、次の洪水に備えてダムの水位を下げます。

横山ダム  
下流の安全を確保し、次の洪水に備えてダムの水位を下げます。

■洪水調節の実績  
(H24.9/17-18 集中豪雨)

徳山ダムでは最大約700m³/sの流入量を、横山ダムでは最大約350m³/sをダム湖に貯留した結果、河川水位を約1.2m低下させることができました。

洪水調節による  
水位低減効果  
約1.2mの  
水位低下

徳山ダムの  
水位  
Y.P.10.71m

横山ダムの  
水位  
Y.P.9.51m

横山ダム流域平均雨量

徳山ダム洪水調節図

横山ダム洪水調節図

揖斐川流域を安心・安全に

### ■横山ダム・徳山ダム 連携操作

○ 「ダム印」を始めました

国土交通省中部地方整備局と水資源機構では、流域全体で水害に備え被害を減らす対策を行う「流域治水」が進められています。4月1日から流域治水の要である治水ダム等について、その役割等を広く一般の方に理解していただき、関心をもっていただく事を目的に、長野、岐阜、静岡、愛知、三重5県の国土交通省及び水資源機構の14の治水ダム等で「ダム印」がスタートしました。

水資源機構では中部管内の岩屋ダム、阿木川ダム、長良川河口堰、味噌川ダムそしてここ徳山ダムの5施設で「ダム印」を設置しております。

台紙の受け取りには、アンケートが必要になりますので受付にお声がけください。

これからお出かけしやすい気候になりますので、全14個をコンプリートしてみませんか。



■徳山ダムのダム印見本

詳しくは以下の国土交通省、水資源機構共同記者発表資料をご覧ください  
[240325damin.pdf \(water.go.jp\)](https://www.water.go.jp/240325damin.pdf)

## 長良川河口堰管理所

○ 長良川河口堰見学会を開催します！

長良川河口堰管理所では、5月19日（日）に「施設見学会」を開催いたします。

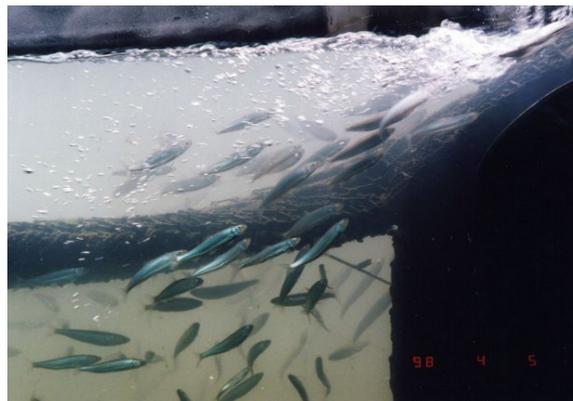
河口堰の役割や洪水対策及び利水等、長良川の歴史と地理、普段は見ることのできないゲート巻き上げ機室等の見学を行います。魚道観察室では、稚アユが元気に泳いでいる様子が見られます。

対象者は、小学4・5・6年生及びその保護者になります。事前申込制になりますので、詳細は当管理所のホームページをご覧ください。

URL : [https://www.water.go.jp/chubu/nagara/26\\_kisya/r6/shisetukengaku\\_20240412.pdf](https://www.water.go.jp/chubu/nagara/26_kisya/r6/shisetukengaku_20240412.pdf)



■ゲート巻き上げ機室



■魚道観察室

## 味噌川ダム管理所

### ○ 味噌川ダム防災資料館（ふれあい館）開館のお知らせ

昨年12月から休館しておりました味噌川ダム防災資料館を4月6日（土）より開館致しました。各種イベントや展示会においても今年度中に複数回開催予定でございます。ダム見学とともにお気軽にお立ち寄りいただければ幸いです。詳しくはHPをご覧ください。

<http://www.fureaikan.jp/>



### ○ 常用洪水吐ゲートの点検を行いました

4月15日（月）に、味噌川ダムの主要施設の1つである常用洪水吐のゲート点検を行いました。出水期の洪水吐からの放流が必要になった場合に正常にゲートが作動するかを点検するものです。当該点検時には、少量の水が5分程度流れます。さざ波のように水が放流されていく様は、美しく感じるものです。この点検は、およそ2ヶ月に1回の頻度で実施されております。



■ゲート点検放流の様子

## 三重用水管理所

### ○ 所長就任あいさつ

4月1日付けで三重用水管理所長に着任しました小山重男です。今年、3月から4月上旬のまとまった降雨もあり、4月上旬時点の三重用水全体の貯水量は、ほぼ満水状態となっております。これから水需要が増加して行きますので、8つの溪流からの取水及び5つのダム（調整池）により用水の安定供給に努めて参ります。

三重用水施設は、昨年、管理開始30周年を迎え、古い施設は約50年経過しています。これからも施設の機能が継続できるよう適切な維持管理、老朽化対策、耐震対策にも計画的に取り組み、安定した農業用水・水道用水・工業用水の供給に寄与していく所存です。

今後関係者の皆様にはいろいろとお世話になりますが、よろしくお願いいたします。



### ○ 第48回菰野町駅伝大会に参加しました

3月3日（日）、菰野調整池において菰野町スポーツ協会主催の駅伝大会が開催されました。今年は34チームが参加し、寒さの中でも熱戦を繰り広げていました。駅伝のコースは菰野調整池を周回するもので、当日は天候にも恵まれたため、選手たちは菰野調整池を眺めながら気持ちよく走ることができたかと思います。三重用水管理所も参加し、水資源機構をPRすることができました。



■ スタートの様子



■ 三重用水管理所チーム

## 編集後記

【担当課：中部支社 総務課】

今年の桜は例年より開花が遅く、各入学式や入社式には満開の桜がお祝いに花を添えたようです。

名古屋城の桜も満開が4月になり、式典帰りの人も含め大変賑わっていました。

今年のゴールデンウィークは、新型コロナウイルス感染症が5類に分類されて初めての連休です。また、北陸新幹線の敦賀までの延伸などもあり全国的に観光客が多くなりそうです。震災で影響を受けた北陸地方に活気が戻るといいですね。

私事ではありますが、早くも今年の5大ニュースを報告します。

1位：能登半島地震、2位：羽田空港の事故で旅客機の乗客乗員が全員無事脱出、3位：大谷選手の結婚と専属通訳の詐欺、4位：中部支社組織改編で新たなスタート、5位：中日ドラゴンズ4月中旬まで首位キープ（4/18時点）。

今年こそ辰年にあやかり中部地方に活気が戻りますように。



■名古屋城天守閣とお堀に映ったさくら



小林一茶

ブレイクタイム 俳句

【 夕ざくら けふも昔に 成りにけり 】 小林一茶

・桜の咲く春のうらかな日々だけれど、一日が終わり夕暮れ時は侘しく、ながめていたあの夕桜も、もう過去のものとなりました。の意味。

